

- 全国初の県市合築、共同運営によるオーテピア高知図書館の開館に向け、平成29年1月に策定された『オーテピア高知図書館サービス計画』の基本理念及び基本方針を継承・発展させ、継続する課題や新たな課題に対応するため、取組のさらなる強化や見直しを図る。
- また、新型コロナウイルス感染症の世界的流行を契機とした社会構造の変化やデジタル化のさらなる進展などの社会情勢の変化、読書バリアフリー法施行などの国の政策にかかる動きを踏まえ、サービスを充実する。
- 地域の課題解決を支援する図書館として、これまで培ってきた関係機関との連携をさらに強化・発展させるとともに、特に教育分野における課題解決支援を強化する。

第1期計画推進の現状・課題

【現状】概ね目標を達成

目標値 ^(R3年度)		H26年度実績 ※開館前の県・高知市の計	R元年度実績 うち 4～12月	H26年度比	R2年度実績 4～12月	R元年度4～12月比
①年間個人貸出点数	110万点	519,892	1,064,469 832,122	2.04倍	753,979	0.90倍
②レファレンス件数	3万件	23,989	37,914 30,324	1.58倍	19,610	0.64倍
③オーテピア来館者数	100万人	620,158	1,028,441 842,889	1.66倍	523,727	0.62倍

【取組の検証と課題の整理】

- ・第1期計画の中間評価(R2.8時点)
- ・サービス計画アンケート調査(R2.9～10実施)
 - ①利用者満足度、②関係機関・団体(学校含む)、③バリアフリー、④県市行政職員、⑤市町村支援
- ・関係機関・団体との意見交換(「図書館サービス意見交換会」R2.12.7及び14開催)
 - ①商工・農林水産、②健康・福祉、③防災、④中心市街地活性化・周辺施設との連携

改定の視点として整理

(仮称)『オーテピア高知図書館サービス計画』(第2期)策定方針<<たたき台>>

【検証の視点】

社会情勢
の変化

国の施策に
かかわる動き

地域の抱える
課題

基本構想・基本
計画の実現

第2期計画で解決すべき課題

- ① 図書館サービスの認知度不足、利用促進
 - ・レファレンス・サービスやデータベースの利用促進
 - ・行政支援サービスや障害者サービスの認知度向上
 - ・リテラシー向上支援のプログラム開発とPRの必要性
- ② 社会情勢の変化や地域の課題への対応
 - ・「ポストコロナ」に向けた対応
(非来館型サービス・セーフティネット)
 - ・移住者を対象とした読書・情報環境の提供
(シェアオフィスとの連携など)
 - ・不登校の生徒に対する他機関と連携した支援
 - ・多様化する在留外国人への資料・情報の提供
 - ・知的障害者等を対象としたサービスの検討
 - ・大規模災害を想定した図書館サービスの体制構築
- ③ デジタル化のさらなる進展への対応
 - ・ICTやIoT等の技術向上に対応したサービスの進化
- ④ 関係機関等の連携による図書館サービスの充実
 - ・各分野の専門機関・団体との協働によるサービスの向上
 - ・社会的な課題への幅広いアプローチ
(ひきこもり問題、L G B T Q等への理解促進、貧困の連鎖の解決など)
- ⑤ 県市両図書館の独自機能の向上
 - ・【県】市町村や学校の実態に応じたきめ細かな支援
 - ・【市】学校のニーズに即した資料提供や分館・分室、移動図書館のさらなるPR

これらの課題解決に向けて

「オーテピア高知図書館サービス計画」の基本理念・基本方針

基本理念

～ これからの高知を生きる人たちに力と喜びをもたらす図書館 ～

1 情報提供機関として地域を支える図書館

2 県民・市民の資料要求に応え、課題解決の支援ができる図書館

3 セーフティネットの役割を果たす図書館

4 図書館利用に障害のある利用者に配慮した図書館

5 進化型図書館



県市両図書館の独自機能のさらなる向上

【課題⑤】

サービス・取組として具体化

【 サービス・取組の体系 】

*は第1期計画から掲載位置を変更

1 地域を支える情報拠点
機能の充実

- (1) 資料・情報の提供（貸出し・閲覧・予約・**レファレンス***）
- (2) 高知県関係資料の収集・保存・提供
- (3) **情報リテラシー向上支援***

2 暮らしや仕事の中での
さまざまな課題解決への支援

- (1) ビジネス・農業・産業支援サービス
- (2) 健康・安心・防災情報サービス
- (3) 行政支援サービス

3 利用者に応じた
図書館サービスの充実

- (1) 児童サービス
- (2) ティーンズ・サービス
- (3) 多文化サービス
- (4) 図書館利用に障害のある人へのサービス

4 連携・支援及び図書館
の活用

- (1) 市町村立図書館等への支援（県立図書館機能）
- (2) 高知市全域サービスの拠点（市民図書館機能）
- (3) 県立学校図書館等との連携・協力（県立図書館機能）
- (4) 中心市街地活性化への寄与・周辺施設との連携



SDGsを意識した取組

発展させるポイント

各種団体・関係機関との**連携・協力関係の発展によるサービスのさらなる拡充**
災害発生後も情報提供機関としての機能を果たすための体制整備
対象に応じた情報リテラシーの向上支援プログラムの提供

【課題④】

【課題②】

【課題①】

課題解決支援サービスの**普及・啓発と利用促進**
各種団体・関係機関との**連携による地域が抱える社会的課題の普及・啓発**

【課題①】

【課題④】

不登校等の課題に対する図書館の資源を活用した支援
「ポストコロナ」に向けた**転職・転業、学び直しに役立つ資料・情報の提供**

【課題②】

【課題②】

多様な障害に対応したサービスの研究・創出
障害のある当事者や支援者に対する**広報の強化**

【課題②】

【課題①】

ICTやAI技術等の進展に対応したサービス創出の検討
「ポストコロナ」に向けた**非来館型サービスの拡充**

【課題③】

【課題②】

想定される主な対象者

すべての利用者
高知についての資料・情報を必要とする方
情報の調べ方や活用方法を学ぼうとする方

ビジネス等の課題の解決が必要な方
健康・福祉・防災分野の課題の解決が必要な方
高知県庁・高知市役所の職員

小学生までの子ども、保護者、子どもの読書活動関係者
ティーンズ世代
在留外国人、非日本語話者、外国語学習者
視覚障害者等、図書館への来館困難者

県民（直接的な対象は市町村立図書館等）
高知市民、市内学校の児童・生徒、教職員
県内学校の児童・生徒、教職員
商店や商店街、近隣に所在する文化施設等

【 サービス指標 】

目標設定とPDCAによる
図書館サービスの向上

総括的な指標

- ① 年間貸出点数
- ② レファレンス件数
- ③ 年間入館者数
（オーテピア来館者数）
- ④ 県民一人当たりの
年間貸出冊数



各サービスの主要な
取組に関わるサービス
指標の設定

※各サービスの指標は
検討中